

17) 第十七日目 移動日(阿寒～斜里へ)

H19年7月4日(水) 晴

・野中温泉の朝はゆっくりと 7:00からの上げ膳据え膳の部屋食。今日も天気は良い。



野中温泉



湯の滝

・宿を出てまずオンネトウへ戻り湯の滝へ向かう。オンネトウ国設野営場の駐車場に車を置いてゲートで閉鎖された道を約20分歩いて湯の滝へ。公園になっていて数年前までは露天風呂が設備されていたらしいが今は完全に崩れていて、湯の滝が落ちているだけ。そのため車は入れず歩いて来るだけ。だれもいない静かな公園を楽しめる。まさに湯が滝になって落ちており、今でもマンガン鉱が成長している珍しいところ。そういうこともあり車の出入りと露天風呂は中止したらしい。



摩周湖

・再度雌阿寒温泉の前を通り阿寒湖を素通りして摩周湖へ向かう。摩周湖は4回目になるが今まではいつ来ても晴れていた。今回は霧が立ち込めていて初めて霧の摩周湖を見ることが出来た。

・しかしその霧も見る見る晴れてきて今回もすっかり晴れ渡った摩周湖となった。

・レストハウスのレストランでかしわそばの昼食。

・弟子屈町へ戻ってから屈斜路湖へ入りなおし湖畔で遊ぶ。天気は良いし人はいないし静かな屈斜路湖だ。湖岸を走ったので硫黄山へ寄らなかったことは失敗だった。



屈斜路湖

- ・小清水町を通過してオホーツク海にぶつかり、西へ折れて小清水原生花園へ行く。  
もう遅いのか花はあまり無いがスカシユリとハマナスが良く咲いていてきれいだった。



小清水原生花園



スカシユリ



斜里岳の遠望

- ・小清水原生花園からは明日登ろうとしている斜里岳がくっきりと浮かんで見える。



清岳荘

- ・海岸線を東へ走り清里町へ。町役場に寄って今日の宿「清岳荘」への道を聞く。

- ・地図にない道を約8km、砂利道のため砂埃にまみれて「清岳荘」に到着。

鉄筋建築の立派な山小屋だ。寝具を持ち込み寝場所を確保してから外で夕食。眼科に夕陽に輝くオホーツク海が美しく映える。

- ・今夜の宿は結構賑やか。数人から10人くらいのパーティーが4、5パーティーいる。その中に調子のいい親父を中心としたおばちゃんの多いうるさいグループがいて閉口した。外では暗くなっても夕食を囲んでガヤガヤ。それも7:00過ぎには皆寝に着き静かになった。

8:00ころ直人から携帯がかかってきたが周りが皆寝ていたので出なかった。

- \* どうしたわけか、久しぶりで他人に囲まれて寝たので緊張したためか夜中しょっちゅうトイレへ行った。明日は斜里岳だ。

[小清水原生花園で見られた花] 6種(名前のわかったもの 4種 + 名前不詳 2種)

- ・ハマナス ・スカシユリ ・エゾカンゾウ ・オオレイジンソウ(オンネトウ)